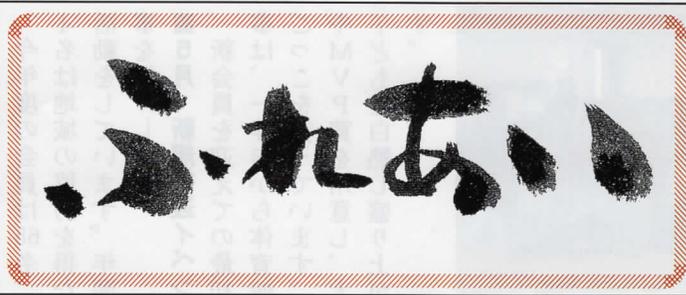


第55号

2016年(平成28年)
7月14日

発行
長房地域住民協議会
八王子市長房町506-2
八王子市長房市民センター
☎042(664)4774
(公財)八王子市学園都市
文化ふれあい財団



卓球クラブ「ピンキチ」



共立女子学園内の月夜峰の石碑



趣味のウチョウラン栽培



長房話題あれこれ



長房西団地連合自治会
結成50年記念誌『50年のあゆみ』を刊行



長房子ども育成会

「ふれあい端午まつり」を振り返って

長房地域住民協議会

会長 松葉浩充

今年も多くのの方々のご協力により従来にも増して盛大に開催できました。

4月17日からのこのぼり掲揚後、例年のように保育園、幼稚園、老人ホームの方などが、連日来場され歓声や笑顔で新緑の季節を満喫されました。ただ今年は突風の日が多く、竹ざおが折れたり、鯉がたくさん飛んできましたがなんとか無事に終わり幸いでした。

まつり当日は天候にも恵まれ過去最高の賑わいとなりました。昨年と同様、特に子どもさん達に楽しんでもらえるよう取り組みました。ふわふわ水族館、よろい姿で記念写真、フラワーアレンジメント、折り紙教室などは大盛況でした。お菓子やヨーヨーの配布も好評でした。

恒例の富士森高校ダンス部、横山中学校の吹奏楽部には元気をもらい、会場も盛りあがっていました。『12弦』のギター演奏も好評でした。舞踊、カラオケなどは日頃の成果を出されました。ビンゴゲームもすっかり定着しました。模擬店も早々と完売続出、ふわふわ会場の新地町会のお店も同様でした。

『都議会だより』の表紙に掲載された写真を見て、来場された方も多く見受けられました。

このようなイベントが継続して行えるのも、住民協メンバー、各町会・自治会からの協力者、センター職員などの理解と協力があったからこそです。今年は延べ900名の協力をいただきました。

運営面ではカラオケ申込みの不安がありご迷惑をかけたかもしれません。安全面で次回は、2つの橋の竹ざおのぼりを再検討します。

これからも地域住民がともに楽しめるイベントにして行きたいと思えます。ご協力のほどお願いいたします。

地域子供育成会の紹介③ 長房子ども育成会



当子ども会は、長房町会と長房自治会に居住する児童の育成と親同士の親睦を図ることを目的に発足しました。

今年度の会員は65名。役員4名は地域の協力を得ながら活動をしています。年間の行事を紹介します。

■5月 新規歓迎イベント

新会員を迎えての最初の行事は、一昨年から体育館で鬼ごっこを行っています。景品やMVP賞を用意し、大人も子どもも白熱し盛り上がりま



ハロウィンの仮装をした子どもたち

■7・8月 納涼祭、子ども神輿、ラジオ体操

7月には長房自治会、8月には長房町会の納涼祭が行われ、いづれも初日は子ども神輿で地域を渡御します。夜はお楽しみ模擬店。子ども盆踊りの時間もあります。

ラジオ体操は、実施期間は短いですが2学期が始まる前の週に行います。

■10月 ハロウィン

仮装をして地域の方のお宅を廻り、お菓子を頂いた後はミニゲームで楽しみます。

■12月 夜警

高尾警察署をはじめ、地域団体の協力を得ながら「火の用心！」の掛け声で巡回し、地域に防火を呼びかけます。

■3月 6年生を送る会

毎年ボウリング大会で卒業生をお祝いします。未来の宝である子どもたちの健全な育成のため、親子ともども地域との繋がりを大切にしながら、尽力したいと考えています。

長房子ども育成会

会長 松本郁子

長房周辺 散策記 21

氏照が賞めた月夜峰

長房町会 伊藤 完

しまししょう。

まずは船田通りから北団地入り口の信号を共立女子学園方面に坂を登ります。道路右側住宅の裏手に生活古道がありその延長に沿って道路右に入ります。10m先にまた右に入るロープが張られた木立の中を小道に入ると視界が開け、南に都営団地が見えます。

絶たれた

氏照の大構想

この下方が「願紙谷戸」と呼ばれる所です。そのまま山道を登りましょう。尾根の道に出ます。南側を眺めると船田丘陵(団地)から多摩の横山、大山まで見えます。そこは曲輪の跡と見えるような平坦地があります。北方に道路を渡り学園の敷地のフェンスに挟まれた山道に入ります。左にスクールバス駐車場、右の坂下に広場、次に台地そして右下に谷状の地形が続きます。カーブして学園の敷地が高台になります。学園内には「月夜峰」の石碑が有り、そこが

氏照の別荘で館跡と思われる。この地に月を賞めしよ地の名を月夜峰と号す」と記録があるそうです。

氏照は神楽が好きで宴には獅子舞が催され、家臣篠村佐近之助の姫「安寧」と狭間郷士の息子で笛の名人が月夜峰で恋に落ちたそうです。高尾の熊野神社には樫の木と樺が相生した古木があり、この二人が民話になっています。八王子城落城後は氏照の室「お比佐」の方がこの地で侍女数名とわびしい余生を送ったと言われています。左(北方)に曲がり尾根に出ると、大岳山をはじめ奥武蔵の山々など眺望絶景です。中央高速を渡ると「滝不動」があります。三軒在家、船田、月夜峰を通る鎌倉古道の「不動坂」になります。氏照の構想、八王子城郭は御主殿の曳き橋から幅8mの道路を造り、中心街の元八王子に繋げ、落越には家老職の屋敷(大名屋敷)、船田には庶民の街が造られようとしておりましたが、天正18年(1590)秀吉軍の前田勢が月夜峰を通り八王子城御主殿を攻め、松竹から上杉勢に攻められ、落城し、氏照は小田原で切腹し夢が絶たれました。



曲輪の跡と思われる地形

私の趣味

丹精の花々に囲まれて

船田町会 川村孝一さん



川村さんのお宅を訪ねると、玄関先の色とりどりの花菖蒲が迎えてくれました。

「植物を育て始めたのは1977年、転勤が多かった前の会社を辞め、転職してそろそろ落ち着きたいと思い始めた頃からです。故郷岩手の山から採ってきたブナを鉢に植えました。これが私の盆栽のスタートです」

以来40年、接ぎ木で増やした藤の盆栽などの大物から、トキ草など山野草の小鉢まで、今では千を超える鉢が庭を埋め尽くしています。毎日の水遣りは朝2時間、夕方2時間。現在は膝を痛めてリハビリ中で奥さんに手伝って貰っているそうです。

「家内にはいつも感謝しています。生け花を教えていたこともあり、剪定などは私より上手ですから」

川村さんは盆栽や花だけでなく植物を育てることすべてが好きなようです。長房小学校での農園ボランティアでは、耕運機での作業を一手に引き受けているそうです。

今がちょうど花期に当たり、その世話で忙しいのが、毎年800鉢を育てているという可憐な山野草のウチョウラン。紗で直射日光を遮り、気温が上がれば扇風機で風を送り、水遣りの時期は鉢の重量で計り、肥料はやり過ぎないようにピンセットで一粒ずつ、まるで精密機器を扱うようです。

「ウチョウランは変異が多く、集め始めたら限りがありません。これまでに2000株は欲しいという方に差し上げたと思います。今年も咲きました、と聞くと嬉しいですね」

これまでの苦労も忘れるそうです。

船田町会 平田哲男

熊本大震災被災者への義援金募金から学びました。
4月14日発生した震度7の大地震は、これまで体験したことのない地震災害となりました。いまだに避難場所さえないような被災者の皆さんに少しでも励ましの心を届けようと都営西アパート連合自治会では役員会で協議し、全世界に呼びかけた募金活動にとりくみました。
その中で役員の発言から、よく調べたら募金には①義援金（国内の被災者に贈るお金）②救援金（国外の被災者に贈るお金）③支援金（災害現場

ご存知ですか？

義援金の種類

熊本大震災被災者への義援金に携わっている方々に贈るお金の3種類あることがわかりました。そこでこのことを明記した募金を呼びかける手紙を作り「義援金募金」とし

て皆さんに呼びかけたところ、「直接現地に届くなら」と短期間で役員も驚くほどの心のこもった募金が寄せられ、ただちに郵便局から熊本県に送金し、顛末を会員の皆さんに報告しました。

今回は、役員
の一言から、とてもよい勉強をさせていただきました。
西山典明

センター利用グループの紹介②
卓球クラブ「ピンキチ」

体育館に入ると4台の卓球台から、激しい球のうちの音が響きます。練習日は毎週4回で、会員の構成は64歳から87歳の26人です。

代表の山下静雄さんは、「大会などの出場が目的でなく、卓球を健康のため伸び伸びと楽しく続けていくことを大切にしています」とのことです。



クラブ名の『ピンキチ』は面白いネーミングですねとたずねると、「みんなピンポンが好きでたまらないことから生まれました」と温厚な笑顔で語りました。

長房西団地連合自治会 小岩 博

端午祭りの裏方さん紹介(男性編)

平田征哉さん 各会場設営の図面作成や材料道具などの事前準備をいつもやっていたいでいます。感謝、感謝です。大のぼり旗掲揚にはなくてはならない方です。
富田三郎さん 舞台設営のプロ、今年ほどんな舞台かなと期待されています。音響も設備も含めて、なくてはならない存在です。
西山典明さん 名司会で持ち前の気配りと機転で会場を和やかにしていただいています。
戸井田初男さん 水道工事や竹ざおのぼりの設置、のぼり旗のパイプ取り付け、小こいのぼりの川渡しもこの人のアイデアです。
松本武久さん ビンゴゲームの進行や会場外の案内放送で存在感を発揮しています。
須藤泰一さん カラオケ大会の曲目設定に細心の注意をはらっています。
安協のみなさん 駐車場の管理運営と安全に努めています。ご苦労も多いと思います。

園児の鯉のぼりシリーズ 第3回 セント・ベル幼稚園



春の穏やかな日差しの下、南浅川の河川敷にたくさんのお鯉のぼりが元気に泳ぎます。

セント・ベル幼稚園では毎年、年長児3クラスが共同で鯉のぼりを作成し、出展しています。今年は大きな鯉のぼりに一人ひとりが色とりどりの手形を捺し、みんなの心がこもった素敵な作品になりました。

いつも明るく元気でやさしい子ども達、大空をのびのびと泳ぐ鯉のぼりのように、心も体も元気で大きく育ってくれることを願っています。

(年長組担任 仲村美穂子)



趣味の工芸品なども展示



じょいそーらん四季舞



人気のフラワーアレンジメント



よろいの紋所は北条氏照

- 端午まつり こぼれ話
- 今年は大風が吹き荒れ、竹ざおは20本以上折れ、川渡しの鯉も30匹くらい破損しました。絡みあいも多く手直しに苦労させられました。竹ざおの在庫もなくなってしまうました。
 - 竹ざおの杭打ち作業は大変です。そこで「安全ハンマー」を購入、効果はバツグンでした。
 - 陵東橋の両サイドの小さな鯉のぼりの川渡しは良いアイデアで、園児にも好評でした。
 - 園児のぼり140匹はひもつけなどの工夫効果もあつて破損、紛失は0でした。
 - 陵南公園に初めて5本の竹ざおのぼりを掲揚しました。
 - 体育室は冷房や照明のLED化で、明るく快適との声多し。トイレもきれいとの評価が上りました。
 - 体育室の北側壁面に「東大大学院生」作成の飾りこいのぼりを借用し取り付けました。いかがでしたか？
 - 『都議会だより』の写真掲載で問合せが多くセンター職員は道順説明に大わらわでした。
 - すっかり定着したフラワーアレンジメントは2日間とも予約順番待ち。母の日のプレゼントと、ちやっかりした子もいましたよ。